つるおか婚シェルジュ対談

三浦 明弓（みうら あけみ）　婚活アドバイザー
平成27年（１期）からつるおか婚シェルジュ

×

平田 充廣（ひらた みちひろ）　つるおか世話焼き委員会副会長
平成29年（２期）からつるおか婚シェルジュ

婚シェルジュになるきっかけは人それぞれ

平田　私の住んでいる地区は元々婚活に力を入れていました。そういうこともあり、地域のためになればという気持ちで婚シェルジュになりました。実際活動してみると、自分の地域にとどまらず、鶴岡全体の活性化につながっていると感じています。

三浦　私は元々人の世話を焼くことが好きで、県の事業でお見合い等の支援を行っていたのですが、庄内では婚活支援が盛んではありませんでした。つるおか婚シェルジュの制度が始まると知ったときは、鶴岡で活動の輪が広がることをとてもうれしく思いました。今のメンバーもなろうと思ったきっかけは様々でしたね。

婚シェルジュはやりがいがたくさん

平田　自分が世話をすることによって、その方が幸せになってくれることにやりがいを感じます。結ばれて幸せになってくれたら、私も幸せな気分になれるんです。幸せが自分に返ってくると言うのかな。

三浦　感激ですよね。私もその人になりきる訳ではないですけど、自分の事のように思いながら活動しています。恋愛漫画の主人公に投影するような感覚。自分を重ねて、幸せな瞬間を味わっています。

それから、担当している方が結ばれて、「三浦さんのおかげです、ありがとう」という言葉を聞いた瞬間が毎回たまらないですね。私の方こそありがとうと思います（笑）。

平田　私が担当し成婚した方のご兄弟や親せきが登録して、私を担当に指名してくれたときもうれしかったですね。人とのつながりが広がっていくことのすばらしさを実感します。

世話焼き委員会に安心して登録してほしい

三浦　鶴岡市の婚シェルジュは、研修を受けて市が認定した人がなれる仕組みになっています。研修では個人情報の取扱いや婚シェルジュとしての心構え、寄り添い方の手法などを学びます。実はここまでやるのは全国的にもまれで、私たちが自信を持って取り組んでいる理由でもあります。だから安心して世話焼き委員会に登録してほしいと思います。

平田　登録してくれた方には、受け身ではなく積極的に動いてほしいと思います。やっぱりそういう人ほど早く結婚が決まっています。私たちは伴走者です。同じペースで進み、ゴールを目指します。

三浦　基本的には婚シェルジュを通してやり取りをするので、男女間のトラブルもありません。直接やり取りをするマッチングアプリにはない安心感がありますね。

一緒に結婚を後押ししてくれる仲間を増やしたい

三浦　婚シェルジュ同士のつながりも財産だと思っています。年齢も経歴も多種多様な人の集まりで、ふだんの暮らしでは出会えなかった方がたくさん。そこも御縁だと思っていますし、活動だけでなく、自分の人生にも学ぶことがあります。本当に婚シェルジュの一員で良かったと感じます。

平田　地域のため、身近な人のため、理由は何でも構いません。婚シェルジュになって一緒に活動してくれる仲間ができたらうれしいです。

婚シェルジュの世話焼きから成婚された方にお話を聞きました

Ｋさん・Ｔさん夫妻（今年６月結婚）　**婚シェルジュさんに頼って本当に良かった！**

Ｋさん　世話焼き委員会に登録して約１年、自分に合う方になかなか出会えないでいましたが、婚シェルジュさんのおかげで、ちゃんと自分に合う人と出会うことができました。コロナ禍で出会いの場がなくなるのではという不安もあったので、本当に良かった。

Ｔさん　私は自分でも婚活をしてきたのですが、全然思うようにいかず、半ば諦めかけていました。そんなとき、婚シェルジュさんに「こんな人いるけどどう？」と声を掛けていただきました。その人がＫさんです。話も合うし、しゃべりやすい人で、自分にピッタリ。婚シェルジュさんのすごさを実感し、相談して良かったと心から思いました。

婚シェルジュに結婚の世話焼きをお願いしたい方はこちらから▶